

広島県糖尿病療養指導士認定試験のための糖尿病療養指導自験例の記録

症例番号: 1・2・3・4・5

受付番号(8ケタ): \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

※分かる範囲で数値や薬品名を記入してください、選択肢については○で囲んでください

医療職 | 看護師・准看護師・助産師・保健師・管理栄養士・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士・作業療法士

1. 症例 ID : ( ) 年齢: ( )歳 性別: 男・女  
 指導期間 : ( )年( )月( )日～( )年( )月( )日 ( 入院・外来・在宅 )

2. 療養指導開始時の患者の状態

- (1)病型 : 1型・2型・妊娠糖尿病・その他( )
- (2)罹病期間 : 約( )年
- (3)嗜好品 : 飲酒 - + 喫煙 - +
- (4)体格 : 身長( )cm 体重( )kg BMI( )kg/m<sup>2</sup>
- (5)検査データ : HbA1c( )%
- (6)合併症 : 網膜症 - + ( 単純・前増殖・増殖 )
- 併発症 : 腎症 - + ( 病期 1・2・3・4・5 )
- 神経障害 - + 空欄や○印の囲がないのは記入漏れと判断され、再提出となります。わからなければ不明と記入して下さい。
- 動脈硬化症 - +
- 高血圧症 - +
- 脂質異常症 - +

3. 療養指導開始時の医師の治療方針

- (1)食事療法 : 指示エネルギー ( )kcal/日  
 減塩 - + ( )g/日  
 蛋白制限 - + ( )g/日
- (2)運動療法 : - + ( 具体的内容: )
- (3)薬物療法 : 経口糖尿病薬 - +  
 (薬品名: )  
 : インスリン - +  
 (薬品名: ) 合計単位 単位/日

4. 本症例に行った療養指導

- ①この症例の療養指導上の問題点(あなたの職種から見て)      ③主治医やチームの他職種との連携
- ②その問題点への対応      ④あなたの指導による患者さんの変化

①の記載が不適切な自験例報告が多いため注意が必要です。例えば、ただ単に「血糖コントロール不良」との記述は不適切です。栄養士として指導すべき点、「アルコール飲料が多い」「不規則な食事と早食い」、などの原因で血糖コントロール不良と記載すべきです。すると②の対応は「アルコール飲料の許容量と飲まない日を具体的に指示した」、「ゆっくりよく噛んで食べるよう指導した」などの記載になります。③例えば患者さんが「アルコールを完全に中止する」のが困難とわかれば、「主治医にこの旨を報告して、アルコールの許容量の具体的な指示を依頼した」などと記載すべきです。また、「主治医にライフスタイルに応じた食事時間を詳細に伝え、低血糖を防ぐ意味から経口血糖降下薬の適切な内服方法を依頼した」などと記載することも可能です。④この栄養士による指導により「アルコールの節酒により食事内容のバランスが改善した。その結果、HbA1cは9.2%→6.9%に低下した」あるいは「低血糖の心配が減ることにより過剰なエネルギー摂取が改善した。その結果、HbA1cは9.2%→6.9%に低下し、体重も3kg減少した」などの記載が適切です。

①はあくまでも栄養士としての患者指導における問題提起であり、漠然としたコントロール不良・脂質異常症あり・肥満あり、などの記載をしないようにして下さい。